

やっぺす通信

Vol.34

2014.9.1 発行

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を喰べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただけると嬉しいです。今月も美味しいもの満載でお届けします～。

うんめえもん応援団 若者自立就労支援 × 石巻復興支援 応援ファイル No.17

—「困難を抱える若者」という言葉に出会って— 横浜市旭区長 濱 陽太郎

2009年4月、私はこども青少年局青少年部長となり、たった1年ではありましたが、「福祉」系業務を初めて経験をしました。そこでは「**困難を抱える若者**」の支援に関することが主な仕事でしたが、そもそも「**困難を抱える若者**」という言葉聞くのも初めてでした。しかし、K2の皆さんや若者の自立支援に取り組んでいる皆さんの話をお聴きしているうちに、当事者の抱える「**困難**」の態様やその原因も様々であるが、その状況を一言で表わそうとしているのが「**困難を抱える**」という抽象的な言葉ではないか、そして当たり前ですが、それらの困難も「**一般的**」にではなく、具体的に考えなければならぬ理解できないのではないかと気が付いてきました。また「**若者**」の範囲も、18歳までか、30歳までか、40歳までなのか、いくつまでを指すのか。事業の対象としては「**年齢**」は重要な切り口ですが、その年齢になったら「**困難**」が解消されるわけではありませんので、NPOはじめ様々な支援者や各種行政機関の連携・協働した取り組み、つながりが重要なのだということにも気づいてきました。

当時を思い返すと、若者支援の関係者とお茶とお菓子を持ち寄り、率直に意見交換を行った「**さわかい**」も懐かしい記憶です。岩本さんはじめK2の皆さんにも参加いただき、多くのことを教えていただきました。そんなこともあって、「**湘南・横浜若者サポートステーション**」の設置もできたのではないかと考えています。2011年3月、東日本大震災は、地震ばかりではなく原子力発電所の事故も加わり、東北地方を中心に多数の犠牲者とともに、大きな被害をもたらしました。その年の夏、被災地をまわりましたが、あつたはずのものが根こそぎ無くなってしまい、また線路や電柱が無残な姿で残り、がれきの山が築かれていたのを目にしました。その信じられない光景に、**現実と非現実が入りまじったような妙な感覚が頭の中を巡りぼーっとしたことを覚えています**。あれから3年以上経ちました。写真などを拝見すると、復興が進んでいると感じながらも、自分のふるさとも帰れない人の思い、大切な人を失った人の思いを考えると、まだまだではないかとも思います。そんな中でも、被災された方・地域への支援（精神的、経済的）のつながりが、静かに広がっていることは嬉しいことだと思っています。「**うんめえもん市**」もその一つではないでしょうか。旭区においても「**うんめえもん市**」が2年前から開催されていますが、多くの区民の方が立ち寄られます。そこに顔を出し、販売している若者の姿を見、おいしいものをいただく。たったそれだけで、被災地への支援にもなる。**被災者への思いが商品をとおして、具体的な支援という行為として現れ、経済的なことばかりでなく心の支援にもなる**。さらに購入する我々の心にも被災の記憶が留まるように思います。そして、「**うんめえもん市**」の取り組みにより、被災地の生産者と横浜の消費者がつながります。そこで汗を流す若者は、「**働く喜び**」と多くの人が「**感謝してくれる喜び**」を感じ、それが自立への力となっていくのではないのでしょうか。いま日本は超高齢社会の時代にあります。そして社会貢献したいという人も増えています。「**やってやる**」という自己満足ではなく、貢献することにより「**自分が活かされる喜び**」を感じる人が増えてきています。それが超高齢社会を生きる人々の活力であるとともに地域に活力をもたらすように思います。「**若者の自立支援**」、「**東北の復興支援**」もそのことを示しているように感じています。



濱 陽太郎さんご紹介
こども青少年副局長として湘南サポステの立ち上げなどに尽力いただきました。その後、旭区長になられてからも、K2における若者支援の事業にいつも応援・激励をいただいております。

石巻現地の声

保守バプテスト同盟 いしのみなと教会 牧師夫人
石巻市スクールソーシャルワーカー

金谷 初子

実際にK2との関わりが始まったのは震災後の事です。教会に宿泊して被災者支援に来たときです。それをきっかけに、その後、渡波に拠点を置き、継続して横浜から青年たちが被災者支援と、自分たちの訓練のために来られるようになりました。引きこもっていた青年たちが、少しずつ地域に溶け込み必要とされている存在となって行く姿を見てくるのができたことをうれしく思います。石巻は震災以前から不登校の多い地域です。学校や地域の不登校支援で手をつくしてもなかなか減らないのが現状です。それは、震災が直接の原因と言うより、震災以前からあった、こどもを取り巻く様々な問題が原因となっていることが少なくありません。それまではそのような環境の中でも、ともだち、地域、学校で支えられてきましたが、**震災後、生活の場が仮設住宅などで、学校からも遠くなり、友達関係も遠くなったり、地域関係もなくなり、今までの支えがなくなったことはますます学校が遠くになってしまう原因になっているように思われます**。さらに、登校には通学バスが用意されていますが、朝乗り遅れると、登校の術がなくなり、休むと言うことになってしまいます。一日も早い生活の場の確保、自力で登校できる環境が必要とされます。不登校の子どもたちの中には近い将来、K2のような支援が必要と思われる子どもたちがいます。それを考えると、さらにK2の働きが地域で認識され、良き理解者、協力者が多く起こされることを願っています。



○金谷 初子さんご紹介

2011年4月、K2から最初の支援チームを送った際、宿泊場所(教会会堂)の提供をして下さった教会の牧師夫人。それ以来、いろいろな面でお世話になってます。また、2008年より、石巻市で最初に導入されたスクールソーシャルワーカーの一期としての働きも継続中。石巻市内のいくつかの小学校を担当され、保護者のサポートも含め、子ども・若者支援にも尽力されています。

うんめえもん販売スタッフ紹介コーナー

うんめえもん市販売スタッフを紹介していきます。
今回は、販売リーダーの高岡 慶考さんにインタビューしました。

① K2に来たきっかけは？

→25歳から6年間働いていない時期があり、急に就職活動に踏み出す事が難しい・怖いと思っていたところ、インターネットでK2事業の湘南若者サポートステーションを知り、行ってみようと思いました。そこからジョブキャンプへ繋がり、そして、うんめえもん市に繋がりました。

② 石巻に行って感じたことは？

→TVでは感じられなかった東日本大震災の現実を目の当たりにし、微々たる事でも何か震災復興のために動かなければ復興はないと感じ、漁師さん達との交流の場では、現実と向き合いながらも前向きな発言しなかった事に感動し少しでも力になりたいと思いました。

③ うんめえもん販売スタッフ (K2スタッフ) になって変わったことは？

→人と人との支え合いで社会は成り立っていることを実感するようになりました。

④ うんめえもん市おすすめ商品は？

→牛タンペパロニ 500円! そもそもペパロニって何?と思われる方もいると思いますが、要するにサラミです。ただしもっと濃厚で旨さは格別です♪



プロフィール

名前 高岡 慶考
年齢 34歳
出身 神奈川県
趣味 温泉
特技 平常心

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.17

石巻は面白い! 石巻はチャンス! 石巻で生きる!
～石巻現地スタッフからの便り～

先月お伝えしたように7月31日、8月1日と石巻の伝統のお祭り「石巻川開き」が開催されました。天気にも恵まれ沢山の人が賑わっていましたが、震災前と震災後でこの川開きが大きく変わった点があります。それは商店街に飾られる七夕飾り(吹き流し)。震災があった2011年は支援を受けながらなんとか飾られたそうですが、2012年からはなくなりました。商店街の方々の話しでは、なくなった理由として、①震災で籠(七夕飾りを括る上部の籠)が津波で流されてしまった②費用がかかるので作れない③制作のノウハウやその関係者も商店街にはいるのだが「作れる若い人」がいなかった(毎年6月から制作しているとのこと)の3点を挙げており、まさに地域が抱える課題そのものでした。商店街に限らず、私たちの拠点がある梨木畑地区や漁場でも同じことが言えます。この夏K2石巻で頑張っている2名の若者が住民票を実家から石巻に移しました。石巻で本気で腰を据えて、石巻で復興支援に携わりながら自立に向けて頑張る決意をしました。K2石巻のテーマである『定住支援』がようやく本格化してきた夏となりました。生きづらさを抱えた若者たちが「石巻の未来をつくる若い人」たちとなるためにチームK2石巻は頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。



震災前



震災後



石巻現地スタッフ・NPO ヒューマンフェローシップ 事務局長 福島 竜

うんめえもん市 今月のオススメレシピ

今回はうんめえもん市でも、一押し商品「花こあみ」を使った

「花こあみチャーハン」のレシピをご紹介します。

○作り方

- 1) フライパンにごま油を入れ、卵をといて流し入れる。
- 2) すぐにご飯を入れ炒める。
- 3) 花こあみ、中華スープの素、酒を入れ炒める。
- 4) レタスを加え、最後にしょうゆ・コショウで味を整え完成。

(材料)

ご飯 茶碗1と1/2杯・卵 1個・レタス 1/4・
花こあみ 大さじ2・酒 少々中華スープの素 少々・
ごま油 大さじ1・しょうゆ 小さじ1・コショウ 少々



9月・10月 うんめえもん市の開催スケジュール

◆ 9月の開催予定日

- ・ 3日(水) 旭区役所 11:00～15:00
- ・ 10日(水) 都筑区役所 11:00～16:00
- ・ 12日(金) 神奈川区役所 11:00～14:00
- ・ 18日(木) 鶴見区役所 11:00～15:00
- ・ 19日(金) 南・栄区役所 11:00～14:00
- ・ 22日(月) 横浜市役所 11:00～14:00
- ・ 24日(水) 瀬谷区役所 11:00～14:00
- ・ 27日(土) 『こどもフェスタ』2014 10:00～15:00
(新杉田公園)
- ・ 29日(月) 磯子区役所(物販のみ) 11:00～16:00



販売責任者

ちあっきー

◆ 10月の開催予定日

- ・ 1日(水) 都筑区役所 11:00～16:00
- ・ 6日(月) 金沢区役所(物販のみ) 11:00～14:00
- ・ 7日(火) 神奈川区役所 11:00～14:00
- ・ 13日(月) 藤沢労働会館まつり 9:00～16:00
- ・ 15日(水) 瀬谷区役所 11:00～14:00
- ・ 18日(土) ほどがや区民まつり 11:00～15:00
- ・ 20日(月) 横浜市役所 11:00～14:00
- ・ 23日(木) 鶴見区役所 11:00～15:00
- ・ 25日(土) ヨコハマ waiwai フェスタ 10:30～15:00
- ・ 26日(日) 修悠館高校文化祭 10:00～15:00
- ・ 26日(日) 横浜市場まつり 9:00～14:00
- ・ 26日(日) いそプラまつり 10:00～15:00
- ・ 29日(水) 旭区役所 11:00～15:00
- ・ 31日(金) 栄区役所 11:00～14:00

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。